

令和3年度事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

NPO法人コロボックル・プロジェクト



1 事業の成果

令和3年度は、計画していた事業を概ね実施することができた。

自然環境（動物）調査により、自然度の高さを示す指標となるムササビやフクロウ、カヤネズミ、ゲンジボタル、ヘイケボタルの生息を確認した。

カヤネズミ調査では、巣の発見は4個で令和2年と同じだった。また、今年度は調査地の一つで清水氏がマコモの茎を食べている個体を観察できたことが大きな収穫だった。

個体数が減ったとみられる成道寺川のドジョウとヤマトシマドジョウに関しては、依然回復の傾向が認められない。スナヤツメも減少傾向にあり、今後注視しておかなければならない。ニホンアカガエルは、周辺部では確認できたものの、成道寺川流域では1卵塊しか確認できなかった。ニホンヒキガエルに関しては、ここ数年産卵が確認できていない。面積の狭い柿原の迫谷では、花園インター線設置のような大工事だけでなく、重機を用いての川浚い（R4・3）など、小規模な工事でも生態系に大きなダメージを引き起こしている可能性が高い。今後とも川浚いに関する協議確認事項を共に作成してお互いに引き継ぐようにして、関係機関（機関内を含む）との共通理解を密にしていきたい。

ホタル類調査では、ゲンジボタルは一日当たりの最大発生頭数は5月31日230頭、ヘイケボタルは6月25日の17頭だった。これは令和2年に比べ、ゲンジボタルで27頭減少、ヘイケボタルで8頭の増加になる。このことは誤差の範囲と言えるのか判断できないが、どちらにしても減少傾向が続いていることには変わりがない。

平成20年度の秋より参加しているモニタリング1000里地調査では、特筆すべき発見はなかった。県内各地で増えつつあるアライグマが金峰山系にも進出してきているため、今後もモニタリングしておく必要がある。

調査結果の公開事業のうち、「コロボックル探検隊」では雨天中止した1事業もあったが、柿原の迫谷を中心に、ゲンジ・ヘイケボタルやカヤネズミ、水辺の生きもの、里やまの生きものについて、モニ1000調査などの方法を紹介しながら「調査・観察会」として実施し、160名ほどの親子が参加した。また、その際の資料を基に、公益財団法人再春館「一本の木」財団の助成を受けて『金峰山自然観察ガイドブック～生きもの調査・観察編～』を出版することができ、今後の探検隊で活用する。

「金峰山学講座Ⅺ」でも中止1事業があったが、薬草調べや古道トレッキング、湧水群巡りなど、自然や歴史・文化などに関する講座に50名ほどが参加し充実できた。

FB・LINE G管理及び広報（報告書）発行は、プロジェクト毎に随時発行することができたが、HPの再開設には至らなかった。一方、里山フォーラムを「生物多様性保全への取組 with コロナ」のテーマのもと、本法人はじめ4団体の取組を紹介し合って、オンライン開催であったが連携を深めることができた。

まちづくりの支援事業では、「里・夢プロジェクト」として金峰自然農園（畑・田んぼ）とともに柿原自然農園、Kaibara自然農園でも、もち米づくり（金峰農園）は

じめ、サトイモ・ショウガや大豆・ソバ・ジャガイモの種おろしから収穫、調理活動のほか、みそづくりや七草がゆに、熊本市市民公益活動支援及び公益社団法人熊本法人会の助成・共催を受けて、地元や地域外の方々など460名ほどが協働して、農業・農村の多面的機能（生物多様性の豊かさ）を感じながら取り組むことができた。

子どもの自然体験活動の支援事業では、NP0法人いろねの皆様と4・7月にキャンプを実施し、南阿蘇の豊かな自然の中で様々な自然体験活動を楽しむことができた。

障がい児・者の発達相談事業では、子ども発達支援・相談センターコロボックルとして、新型コロナウイルス感染予防のための中止が多く、2回10名ほどの茶話会で情報交換やキャンプ準備に取り組むことができた。

発達支援事業では、動物介在教育チームカイハラとの協働で、第8回やんちゃキャンプを南阿蘇で夏・秋・冬と開催し、新型コロナウイルス感染予防のため三密対応を始め各自テントでの宿泊として、個人・家族での参加12名で、生きもの共生教育を充実することができた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
自然環境の調査	動物の調査	通 年	金峰山 一 帯	3 人	全国の関係者 27,000人	2 0
一 調査結果の公開	コロボックル探険隊 ※ガイドブック	通年8回	金峰山 一 帯	2 3 人	県内の参加者 1 6 3 人	2 7 3
	金峰山学講座Ⅺ	通年6回	金峰山 一 帯	1 1 人	県内の参加者 4 9 人	4 1
	FB・LINEG管理 里山フォーラム	通 年 3 月	ネット上	3 人	全国の視聴 3 7 0 人	0 2 7
	年会誌発行「広報」	通 年	会員他	2 人	会員100人	0
まちづくりの 支援	里・夢プロジェクト 田んぼ	通 年 7 回	金峰 自然農園	4 2 人	県内の参加者 2 1 9 人	4 1 0
	畑	1 7 回	金峰 柿原 金峰柿原	1 5 人 4 人	1 9 0 人 5 2 人	2 0 2 8 1 1 7 0
子どもの自然体験 活動の支援	いろねキャンプ	4・7月	南阿蘇	1 人	会員他14人	1 3
障がい児・者の 発達相談事業	茶話会5回	6・7月	荒玉地域	1 人	障がい当事者・ 関係者10人	2
障がい児・者の 発達支援事業	やんちゃキャンプ	7・10・ 12月	南阿蘇	2 2 人	対象児外 2 2 人	1 7 9

令和3年度 活動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(NPO法人コロボックル・プロジェクト)

科目	金額 (単位:円)	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	79,000	79,000
2 受取寄附金		
受取寄附金	0	0
施設等受入評価益	0	0
3 受取助成金等		
受取助成金 (子どもの未来応援基金)	100,000	
受取助成金 (花園校区自治協議会)	20,000	
受取助成金 (公益社団法人 熊本法人会)	310,022	
受取助成金 (わくわく基金)	220,000	
受取助成金 (「一本の木」財団)	50,000	
		700,022
4 事業収益		
調査結果の公開 (探検隊) 事業収益①	127,850	
調査結果の公開 (金峰山学講座) 事業収益②	98,200	
まちづくりの支援 (里・夢) 事業収益③	336,560	
子どもの自然体験活動の支援事業収益④	10,000	
障がい児・者の発達相談事業収益⑤	0	
障がい児・者の発達支援事業収益⑥	99,100	671,710
5 その他収益		
受取利息	2	2
雑収入		
経常収益計		1,450,734
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
臨時雇賃金	0	
法定福利費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
会議費	0	
旅費交通費	139,940	
諸謝金	165,000	
通信運搬費	21,796	
広告宣伝費	0	
消耗品費	810,423	
修繕費	0	
受託費	0	
保険料	42,628	
印刷製本費	187,860	
雑費	50,531	
その他経費計	1,418,178	
事業費計		1,418,178
2 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	0	
役員報酬	0	
福利厚生費	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
旅費交通費	6,900	
通信運搬費	17,765	
印刷製本費	4,620	
消耗品費	137,231	
諸会費	5,200	
研修費	59,143	
会議費	33,731	
雑費	1,100	
その他経費計	265,690	
管理費計		265,690
経常費用計		1,683,868
当期経常増減額		-233,134
III 経常外収益		
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
経常外費用計		0
当期正味財産増減額		-233,134
前期繰越正味財産額		135,604
次期繰越正味財産額		-97,530

令和3年度貸借対照表
令和4年3月31日現在

(NPO法人コロボックル・プロジェクト)

科目	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1流動資産			
現金	30,000		
預金	43,436		
.....			
流動資産合計		73,436	
2固定資産			
.....			
.....			
.....			
固定資産合計		0	
資産合計		A	73,436
II 負債の部			
1流動負債			
.....			
.....			
流動負債合計		0	
2固定負債			
長期借入金	170,966		
.....			
.....			
固定負債合計		170,966	
負債合計		B	170,966
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産	E	135,604	
当期正味財産増加額(減少額)	F	-233,134	
正味財産合計	C A-B/E+F		-97,530
負債及び正味財産合計	D B+C/=A		73,436

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。
- 2 「その他の事業」を実施している場合でも、貸借対照表の区分経理は省略することができる。区分行なう場合はタイトルに〇〇年度「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合は「その他の事業」会計貸借対照表と記載し、それぞれ区分して別葉として作成する。
- 3 前事業年度の末日現在における資産、負債及び財産を記載する。

計算書類の注記(令和3年度)

NPO法人コロボックル・プロジェクト

1. 重要な会計方針
 計算書類の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。
2. 事業費の内訳

(単位：円)

科目	自然環境の 調査事業費	調査結果の公開 事業費		まちづくりの支援 事業費		子どもの自然体験 活動の支援事業 費	障がい児・者の発達 相談事業費	障がい児・者の発達 支援事業費(キャンプ)	合計
		講座	探検隊	たんぼ	畑				
(1) 人件費									
給料手当									0
臨時雇賃金									0
福利厚生費									0
人件費計	0	0	0		0	0	0	0	0
(2) その他経費									
会議費									0
旅費交通費	17,000	6,000	32,280	18,000	41,900	5,140	1,000	18,620	139,940
諸謝金			15,000	105,000				45,000	165,000
通信運搬費			8,426	540	12,830				21,796
広告宣伝費									
消耗品費	3,499	28,089	33,615	275,137	374,632	7,062	1,209	87,180	810,423
修繕費									
受託費									
保険料		4,480	11,427	6,916	8,792			11,013	42,628
印刷製本費			179,454					8,406	187,860
雑費		1,900	19,785	4,661	14,185	1,200		8,800	50,531
その他経費計	20,499	40,469	299,987	410,254	452,339	13,402	2,209	179,019	1,418,178
合計	20,499	340,456		862,593		13,402	2,209	179,019	1,418,178

借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金	16,695	154,271	0	170,966
合計	16,695	154,271	0	170,966

役員との取引

理事長借入	170,966		0
-------	---------	--	---

令和3年度 財産目録

令和4年3月31日現在

(NPO法人コロボックル・プロジェクト)

科目・摘要	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金(現金手許有高)	30,000		
普通預金(肥後銀行上熊本支店)	38,169		
郵便貯金	5,257		
ろうきん預金	10		
未収金		0	
流動資産合計		73,436	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計		A	73,436
II 負債の部			
1 流動負債			
短期借入金			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
長期借入金	170,966		
固定負債合計		170,966	
負債合計		B	170,966
正味財産		C	-97,530

C=A-B :活動計算書E
貸借対照表D